

「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援 全国キャンペーン」助成

1	交通からまちづくりを考える会 前橋（前橋市）				
【事業名】新型コロナ禍における高齢者・障害者のための外出支援					
<p>【事業内容】</p> <p>自動車を運転できない高齢者や障害者の外出手段の確保が社会問題となっており、さらにこのコロナ禍で安心・安全な交通手段が必要です。</p> <p>①路線バスでの感染対策を確認しながら乗車体験と買い物。 一つの地区でテスト実施。高齢者・障害者 20 名の参加見込み。</p> <p>②「新型コロナ禍における公共交通による外出支援」シンポジウム。 感染学講演、公共交通にかかるパネルディスカッション。 上記①の成果・課題等も共有する。100 名の参加見込み。</p> <p>※共同募金会意見： 高齢者等の日常的な外出支援にどう結び付けるかがカギと考えます。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="930 353 1077 454">助成金額</td> <td data-bbox="1077 353 1453 454">300,000円(助成条件付)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="930 454 1453 797"> <p>【助成理由】</p> <p>高齢者等の自立生活のためには、感染症に注意しながら外出する手段を確保することは大変重要です。この事業の成果を、<u>福祉活動団体等と連携して高齢者等の実生活に生かす手立てを具体的に示していただくことを条件に助成します。</u></p> </td> </tr> </table>	助成金額	300,000円(助成条件付)	<p>【助成理由】</p> <p>高齢者等の自立生活のためには、感染症に注意しながら外出する手段を確保することは大変重要です。この事業の成果を、<u>福祉活動団体等と連携して高齢者等の実生活に生かす手立てを具体的に示していただくことを条件に助成します。</u></p>	
助成金額	300,000円(助成条件付)				
<p>【助成理由】</p> <p>高齢者等の自立生活のためには、感染症に注意しながら外出する手段を確保することは大変重要です。この事業の成果を、<u>福祉活動団体等と連携して高齢者等の実生活に生かす手立てを具体的に示していただくことを条件に助成します。</u></p>					
2	一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会（前橋市）				
【事業名】感染防止を徹底しつつオンライン化を推奨する支部交流懇談会の開催					
<p>【事業内容】</p> <p>知的障害者とその家族を支援する当団体では、県内 25 支部でそれぞれ交流事業や親亡き後を考えるあんしんノート説明会、相談会等を実施していますが、このコロナ禍で活動を自粛せざるを得ない状況です。安心して活動を再開するための支援策として、次の事業を実施します。</p> <p>①定例の「支部交流懇談会」を活動再開支援と位置付けて実施。 オンライン化を推進している全国手をつなぐ育成会連合会の役員を講師に招き、Web 会議など新たな交流方法について支援します。</p> <p>②当団体のオンライン化及び支部との情報共有方法検討 オンライン設備の整備を進め、各支部への具体的支援を始めます。</p> <p>※共同募金会確認： 活動の現状について、いくつかの支部に電話で確認しました。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="930 992 1077 1093">助成金額</td> <td data-bbox="1077 992 1453 1093">200,000円(助成条件付)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="930 1093 1453 1435"> <p>【助成理由】</p> <p>コロナ禍での支部の困りごとを丁寧にアンケート調査して現状把握に努めたうえでこの事業を企画実施しています。<u>オンライン化を具体化する支部をモデル的に選定することを条件に助成し、詳細な成果報告を求めます。なお、役員旅費等一部経費を減額します。</u></p> </td> </tr> </table>	助成金額	200,000円(助成条件付)	<p>【助成理由】</p> <p>コロナ禍での支部の困りごとを丁寧にアンケート調査して現状把握に努めたうえでこの事業を企画実施しています。<u>オンライン化を具体化する支部をモデル的に選定することを条件に助成し、詳細な成果報告を求めます。なお、役員旅費等一部経費を減額します。</u></p>	
助成金額	200,000円(助成条件付)				
<p>【助成理由】</p> <p>コロナ禍での支部の困りごとを丁寧にアンケート調査して現状把握に努めたうえでこの事業を企画実施しています。<u>オンライン化を具体化する支部をモデル的に選定することを条件に助成し、詳細な成果報告を求めます。なお、役員旅費等一部経費を減額します。</u></p>					
3	群馬 NPO 協議会（前橋市）				
【事業名】オンラインで NPO の活動を広げる					
<p>【事業内容】</p> <p>コロナ禍で活動を自粛せざるを得なかったり、継続するにしても感染リスクに配慮しながらであったり、NPO 活動の悩みは尽きません。オンライン化である程度解消できる悩みもあるはずですが、特にシニア層では浸透しにくいいため、支援が必要な状況です。</p> <p>①オンライン体験セミナー開催（3回） シニア層の多い市民活動団体を対象に実施。</p> <p>②必要機材導入支援助成 ①の体験後、必要機材導入の助成と支援を実施。</p> <p>※共同募金会意見： 当助成金の趣旨から、生活課題の解決に取り組む団体への支援を優先していただくことが望ましいです。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="930 1630 1077 1731">助成金額</td> <td data-bbox="1077 1630 1453 1731">300,000円(助成条件付)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="930 1731 1453 2074"> <p>【助成理由】</p> <p>この数か月で世の中のオンライン化が進み、新たな交流手段を得た団体とそうでない団体との活動格差があるように思います。あらゆる分野の活動再開に必要な支援ですが、当助成金では特に<u>生活課題の解決に取り組む団体への支援を重点的に行うことを条件に助成します。</u></p> </td> </tr> </table>	助成金額	300,000円(助成条件付)	<p>【助成理由】</p> <p>この数か月で世の中のオンライン化が進み、新たな交流手段を得た団体とそうでない団体との活動格差があるように思います。あらゆる分野の活動再開に必要な支援ですが、当助成金では特に<u>生活課題の解決に取り組む団体への支援を重点的に行うことを条件に助成します。</u></p>	
助成金額	300,000円(助成条件付)				
<p>【助成理由】</p> <p>この数か月で世の中のオンライン化が進み、新たな交流手段を得た団体とそうでない団体との活動格差があるように思います。あらゆる分野の活動再開に必要な支援ですが、当助成金では特に<u>生活課題の解決に取り組む団体への支援を重点的に行うことを条件に助成します。</u></p>					

4	NPO 法人 北小学舎（館林市）	
【事業名】活動継続のための感染症対策(トイレ・洗面所改修)		
【事業内容】	助成金額	300,000円(申請どおり)
<p>子どもたちの放課後や休日の安心・安全な活動拠点として、学習支援や異年齢間交流、体験学習などを実施しています。築110年の武道館を活動の場として使用していますが、トイレの場所や換気状態がコロナ感染症対策としてふさわしくなく、また小さい手洗い場1つを50人で使っている状況で、このまま活動を続けていけるか不安を抱えています。早急にトイレ改修、換気扇・手洗い場の増設を行う必要があります。</p> <p>※共同募金会確認： 共同募金の地域配分（館林市支会）も数回受けており、地域に必要な活動であることは明らかです。活動費に公費は充てられておらず、ギリギリの運営で資金が不足しています。</p>	【助成理由】	平成26年から続くこの活動は、コロナ流行下でも止めることができない、日常的に必要な子どもたちを支える社会資源です。感染症予防に必須である「手洗い」と「換気」の状況を現状写真等で確認したところ、早急に改善すべきであると判断します。

5	一般社団法人 館林くらしとあそびの研究所（館林市）	
【事業名】すべての子どもたちに学びの場を すべてのお母さんにホッとする場を		
【事業内容】	助成金額	300,000円(申請どおり)
<p>一斉休校の影響で生活リズムや心のバランスを崩してしまい、学校に行けない・行くのが苦しい子どもたちが増えています。保護者も戸惑いを隠せません。またこの時期に出産したお母さんは、立会や面会も制限され単独で出産、産後の赤ちゃん教室もなくなって、孤独で不安な育児をしています。コロナ禍での緊張を解きほぐし、自由でいられる場、相談できる場をつくります。学習支援、身体調和支援体操、自由に繋がるためのネット環境を調えた場の整備を実施します。</p> <p>※共同募金会確認： 当該地域の学童保育所の飽和状態を解消すべく、令和3年度から学童保育を始める準備を進めている法人ですが、以前から行っている地域交流事業の延長線上に今回の申請事業が企画されています。（市に確認）</p>	【助成理由】	子育て中の母親と、学校現場等を経験した専門性の高いスタッフによる事業。コロナ禍の影響が今もなお子育て現場にあることは周知の事実であり、安心して自宅外で交流できる場の必要性は明らかであると考えます。

6	分身ロボット応援！ しげるプロジェクト（高崎市）	
【事業名】分身ロボット活用で難病の子ども・大人の外出を支援する		
【事業内容】	助成金額	300,000円(申請どおり)
<p>難病を抱えた人はコロナ感染リスクが高く、平常時以上に外出が制限されます。遠隔操作型分身ロボットを使い、コロナ禍であっても難病者が人とつながることができるよう支援します。</p> <p>&lt;支援の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みなどで祖父母宅に泊まりに行く恒例行事への参加実現</li> <li>・在籍する支援学校のスクーリングや他校との交流登校の支援</li> <li>・外出できない代わりに夏の夜景、自然の景色をみせてあげる支援</li> <li>・外出できない代わりに多くの人と会話できる機会の創出</li> </ul> <p>&lt;支援方法&gt;</p> <p>介護で本人から離れられない家族に代わり、行きたい場所へロボットを運ぶ、ロボット操作支援、ロボットレンタル支援など</p>	【助成理由】	コロナ禍で多くの人がさまざまな制限を受けるなかで、難病患者はさらに制限を受けます。だからこそ、難病患者が日頃受けている制限に対する理解が進みやすい時機かもしれません。分身ロボットがwith コロナ下でのコミュニケーション復活のヒントになるよう、助成します。

7	JOYクラブ（玉村町）	
【事業名】 明るく元気に「ジョイキッズ」（学習支援の子どもの居場所）		
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>一斉休校により、家庭の学習支援力や経済力の格差による子どもたちへの影響が出ました。特に小中新1年生の家庭の困惑と不安は計り知れません。給食がなくなったため、コロナ不況で失業したひとり親家庭では子どもの食事也十分にとれない状態でした。地域交流事業も中止となり、子どもたちの成長の機会が失われています。</p> <p>その状況を見かね、退職教員等が中心になって、活動を始めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、学習支援の子どもの居場所「ジョイキッズ」開催</li> <li>・学習支援だけでなく、体験交流、英語、工作なども実施</li> <li>・食料支援も実施</li> <li>・玉村町住民活動サポートセンターばる、町役場等と連携</li> </ul>	<p><b>助成金額</b></p>	<p>200,000円(申請どおり)</p>
<p><b>【助成理由】</b></p> <p>子ども食堂を運営している人が新たに始めた子どもの居場所です。コロナ禍での子どもたちの様子を見かねて立ち上げたばかりの活動ですが、地元のサポートセンターや役場等との連携で確実に運営を軌道に乗せつつあります。この時期だからこそ必要な活動と考えます。</p>		